

## 1 題材について

対 象 学 年	中学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	家庭分野B 家族と家庭生活の内容 (1)(2)ア、イ (5)ア、イ
題 材 名	「子どもの成長」(全11時間)
題 材 目 標	<p>幼児の成長に関心を持ち、幼児の発達について調べたり、幼児と関わろうとすることができる。  (生活や技術への関心・意欲・態度)  幼児の喜ぶような遊びやおもちゃを工夫することができる。  (生活を工夫し創造する能力)  幼児の喜ぶおもちゃを作ることができる。  (生活の技能)  幼児の心身の発達の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族や周囲の人々の役割について考えることができる。  (生活や技術についての知識・理解)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫  題材指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の成長や発達については、近隣の幼稚園との交流を図りながら、具体的な幼児の姿を捉えたり、自分が成長した過程と重ね合わせながら、自分のこととしてとらえることができるようにする。</li> <li>・ 題材及び毎時間の課題は、学ぶ必然性のある課題を工夫する。</li> <li>・ 課題を持って調べることで、主体的に活動し、課題解決学習が展開できるようにする。</li> <li>・ 家族や幼稚園教諭、保育士等、幼児と直接かかわっている人の配慮や行動などの情報を多く取り入れ、発達や成長について納得のできる場面を多くする。</li> </ul> <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必然のある課題を解決していこうとすることにより、基礎的な内容を学習しようと考えた。</li> <li>・ 一人一人が考えや発見をまとめ、発表することによって、個々の意識を高め、幼児とかわる必然を作り出した。</li> <li>・ 一人一人の学習成果を取りまとめることによって、幼児の成長の特徴について、総合的にとらえることができるようにした。</li> </ul>
参 考 資 料	<p>資料1 事前アンケート  資料2 幼児の調査カード  資料3 幼児の成長の様子  資料4 安全確認  資料5 おもちゃの製作計画  資料6 おもちゃの製作計画</p>

2 題材の評価規準

	ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造 する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術につい ての知識・理解
内容の まとめ まり ごと の評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて、関心をもって学習活動に取り組んでいる。(1)</li> <li>・幼児に関心をもち、幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて考えようとしている。(2)</li> <li>・幼児の生活と幼児との触れ合いについて関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む、幼児と適切にかかわろうとしている。(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。(2)</li> <li>・幼児の生活と幼児との触れ合いについて課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて、観察したり調査したりすることが出来る。(2)</li> <li>・幼児の生活に役立つものの製作や幼児との触れ合いができる。(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて気付いている。(1)</li> <li>・幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりに関する基礎的な知識を身に付けている。(2)</li> <li>・幼児についての理解を深めるとともに、幼児の生活に役立つものの製作や幼児とのかかわり方に関する基礎的な知識を身につけている。(5)</li> </ul>
題材の 評価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて考えようとしている。</li> <li>・幼児に関心をもち、幼児の観察や遊び道具の製作に取り組んでいる。</li> <li>・幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達とのかかわりについて考えようとしている。</li> <li>・幼児の発達を支える家族の役割について考えようとし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。</li> <li>・幼児の生活を見つめ直し、幼児の生活に役立つものの製作について課題をもち、自分なりの工夫をしたり新たな方法を考えたりしている。</li> <li>・幼児の心身の発達の特성에応じて、幼児との触れ合いやかかわり方につい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の遊びの観察・調査や遊び道具の製作ができる。</li> <li>・観察・調査したことをまとめたり、発表したりすることができる。</li> <li>・幼児の生活に役立つ遊び道具を計画を立ててつくることができる。</li> <li>・幼稚園や保育所等で幼児と適切にかかわることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長や生活は家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付いている。</li> <li>・幼児にとっての遊びの意義について理解している。</li> <li>・幼児の心身の発達の概要を理解している。</li> <li>・身体の発育</li> <li>・運動の機能</li> <li>・言語、情緒、社会性</li> <li>・幼児の発達を支える家族の役割について理解している。</li> </ul>

	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児の生活について関心を持ち、課題を見付けようとしている。</li> <li>・ 幼児の生活に役立つものの製作に関心をもって取り組み、学んだ知識と技術を活用しようとしている。</li> <li>・ 幼児との触れ合いに関心をもって取り組み、幼児と適切にかかわろうとしている。</li> </ul>	<p>て、自分なりに工夫したり考えたりしている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの保護</li> <li>・ 情緒の安定</li> <li>・ 社会化</li> <li>・ 基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。</li> <li>・ 幼児の生活に役立つ遊び道具の製作に関する基礎的な知識を身に付けている。</li> <li>・ 幼児の心身の発達に応じた話しかけや接し方、遊びの工夫などについて理解している。</li> </ul>
<p>単位時間における具体の評価標準</p>	<p>子どもが誕生したときの親の思いを知り、自分の成長と家族のかかわりについて、関心をもって学習活動に取り組んでいる。</p> <p>各自の幼児期を振り返り、自分の成長や生活は家族や身近な人々に支えられてきたことに気付くことができる。</p> <p>幼児の遊び道具作りに意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>幼児の生活について関心を持ち、課題を見付けようとしている。</p>	<p>幼児の遊び方について、工夫したり新たな方法を考えたりする。</p> <p>幼児のおもちゃ製作について、自分なりに工夫したり新たな方法を考えたりしている。</p>	<p>観察・調査したことをまとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>幼児に喜んで遊んでもらえるおもちゃを作ることができる。</p>	<p>遊びや周りの人とかかわりが、発達にとって大きな意味をもつことがわかる。</p>

3 指導と評価の計画（全11時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	子どもが誕生したときの親の思いを知ることを通して、自分の成長と家族の関わりを考えることができる。	中学生になるまで ・中学生と幼児のかかわりについてのアンケート結果を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">私たちは、どのように成長してきたのだろうか</div> ・子どもが誕生したときの思いを知る。 ・感想を発表する ・人の一生の中で、幼児期がどのような意味を持つか考える。	<アー > 子どもが誕生したときの親の思いを知り、自分の成長と家族の関わりについて、関心を持って学習活動に取り組んでいる。	発言 ・プリントへの記述	事前にアンケートを取り、生徒の幼児に対する意識をまとめておく。 子どもが誕生したときの親の思いを綴った資料を用意しておく。
2	各自の幼児期を振り返ることを通して、自分の成長や生活は家族や身近な人々に支えられてきたことに気づくことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">成長の足跡をまとめてみよう</div> ・生まれたときのこと ・名前の由来 ・心身の発達 ・怪我や病気 ・好きな遊び、おもちゃ、テレビ、絵本など ・まとめてみた感想を書く	<アー > 各自の幼児期を振り返り、自分の成長や生活は家族や身近な人々に支えられてきたことに気づくことができる。	発言 ・プリントへの記述	自分の幼児期の写真、母子手帳、家族の話の聞き取りなどから、自分の幼児期の成長をまとめさせる。
3	保育実習に行き、充実した時間を過ごすために、幼児の生活について関心を持ち、課題を見つけようとしている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">保育実習へ行くための準備をしよう。</div> ・幼児と遊びのかかわりを考える。 ・自分の実習に行く組を決める。 ・これからの学習の見通しをもつ。	<アー > 幼児の生活について関心を持ち、課題を見つけようとしている。	活動状況	実習に入る組を決めておく。（対象を具体的に） 幼児の運動機能や言語、情緒の発達など、自分で調べようとする課題を決めておく。

【家庭実践 その1：「幼児について調べよう」】

指導の場 ・第3時の終末

内 容 ・次に学習する内容について概要を説明する。  
・幼児について身近な人に聞いたり本などで調べる。  
（「幼児調査カード」…参考資料）  
・調べたことをメモする。

活 用 ・学習プリント（「幼児調査カード」）を事前に提出させ、学級の実態を把握しておく。

4	自分の調べたことを整理し個人新聞を作ることを通して、対象児の発達の特徴をまとめることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         幼児について調べてことをまとめよう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児調査カードを基に、「遊び」「言葉」「基本的な生活習慣」「人とのかかわり」の項目をおこし、新聞をつくる。</li> </ul>	<ウー > 観察・調査したことをまとめたり、発表したりすることができる。	新聞の出来上がり	
5	年齢ごとに発表し比較することを通して、幼児にとっての遊びの意味を考え、発達にとって大きな意味があることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会をしよう</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         各年齢の特徴を知り、幼児にとっての遊びの意味を考えよう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢ごとに発表する。</li> <li>・成長の特徴について、発表をもとに考える。</li> </ul>	<エー > 遊びや周りの人とのかかわりが、発達にとって大きな意味を持つことがわかる。	プリントへの記述	幼い順から発表し、生活や遊びの様子から、どんどん成長していることがわかるように工夫する。 なかなか気付くことができない生徒に対しては、遊びの種類に着目させるようにする。
6	幼児の遊び道具作りに意欲的に取り組もうとしている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         おもちゃ作りの計画をたてよう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の発達段階にあったものかどうか。</li> <li>・幼児に喜んでもらえるものかどうか。</li> <li>・安全面の配慮があるか。</li> </ul>	<アー > 幼児の遊び道具作りに意欲的に取り組もうとしている。	プリントへの記述	おもちゃの与え方を考えさせる。 対象年齢に合ったおもちゃかどうか検討させる。
7 ・ 8	子どもたちに喜んでもらえるおもちゃを作る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         おもちゃを作ろう       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づいておもちゃを作る</li> <li>・グループまたは個人で製作する。</li> </ul>	<ウー > 幼児に喜んで遊んでもらえるおもちゃを作ることができる。	作品	色、形などを工夫させる。 対象となる幼児を意識しながら製作を進めさせる。
9	自分で作ったおもちゃで遊んでみて、幼児のおもちゃ製作について、自分なりに工夫したり新たな方法を	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         作ったおもちゃで遊んでみよう。       </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児（与えられる側）と親（与える側）に分かれて、ロールプレイングを行う</li> <li>・それぞれの立場の気持ちを</li> </ul>	<イー > 幼児のおもちゃ製作について、自分なりに工夫したり新たな方法を考えたりしている。	プリントへの記述 相互評価	ロールプレイングを通して、どんな接し方で幼児と交流するといいか、考えさせる。

	考えたりしている。	出し、幼児との接し方を考える。			
10・11	幼児との触れ合いやかかわり方を工夫し、幼児との遊び方について、工夫したり新たな方法を考えたりする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保育実習へ行こう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各組（未満児組、年少組、年中組、年長組）毎に実習に行く。</li> <li>・園長先生に挨拶をする。</li> <li>・各組に別れ園児と交流する。</li> </ul>	<イー> 幼児の遊び方について、工夫したり新たな方法を考えたりする。	プリントへの記述	安全面に配慮する。 製作したおもちゃに対する反応など、幼児の姿を観察させる。

#### 4 単位時間の授業展開例

##### (1) 本時のねらい

年齢ごとに発表し、比較し、幼児にとっての遊びの意味を考えるを通して、遊びや周りの人とのかかわりが発達にとって大きな意味があることを知る。

##### (2) 本時の位置 4 / 11時

##### (3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
つかむ /	<p>幼児について調べてみた感想を発表しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">各年齢の特徴を知り、幼児にとっての遊びや周りの人との関わりについて考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児について調べたことについて、感想をいうことができる。</li> </ul>	
課題を解決する	<p>各グループごとに発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢未満児クラス</li> <li>➢年少組</li> <li>➢年中組</li> <li>➢年長組</li> </ul> <p>年齢が上がるにつれどんなことがいえるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼い頃は一人遊びが多い</li> <li>・年齢が上がるにつれ、仲間と遊ぶようになる（集団-協調性）</li> <li>・年長は、ルールのある遊びを始める（社会性）</li> <li>・年齢が上がるに連れて先を使う遊びを始める（運動機能の発達）</li> </ul>	<p>自分の調べたことを発表することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼い順から発表し、生活や遊びの様子から、どんどん成長していることがわかるように工夫する。</li> </ul>
/	<p>幼児にとっての遊びの意味を考えよう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか気付くことができない生徒に対しては、遊びの種類に着目させるようにする。</li> </ul>
深める	<p>幼児が成長していく中で、遊びや周りの人とのかかわりの大切さについて考えよう。</p>	<p>社会性、運動機能、言葉、情緒などの発達は、遊びや周りの人との関わりによって、育てられていくということがわかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか記述できない生徒には、声を掛け、どんなことを思ったのか聞くことにより、評価していく。</li> </ul>

## 5 評価の進め方の具体例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<エ - >

遊びや周りの人とのかかわりが、発達にとって大きな意味を持つことがわかる。

### (2) 評価の実際

#### 【評価の方法】

本時の評価は、遊びや周りの人とのかかわりの中で子どもが成長することがわかるかどうかである。そのために次のような視点を持った。

成長するにつれ、遊びが変わってきていることに気が付いているか

1人遊びから集団の遊びへ

一緒にいるだけからルールのある遊びへ

周りの人とのかかわりとともに成長していることについて気が付いているか

周りの人の真似をして言葉などを覚えていく

友達と遊ぶことにより人とのかかわり方を覚えていく

#### 【判断した生徒の状況例】

プリントへの記述がなかなかできない生徒は、どんな思いを持っているか聞くことにより、視点のことに気が付くしていればBと判断した。

成長とともに1人遊びから集団での遊びに変わっていくといった表面的な捉えから、その行動の裏側～幼児の内面～についても考えている生徒をAと判断した。

#### 記述例1)

仲間と遊ぶことによって人とのかかわりが上手にできるようになっていくんだなと思った。そして、仲間と遊ぶということは道德心を養うということにつながっていくと思うので、幼児は遊ぶことによって、考え方などを身に付けていくんだなと思った。

#### 記述例2)

小さい頃は、遊び道具を人に貸したりできないけど、年齢が大きくなるにつれて、みんなで遊んだり人に遊び道具を貸したりできるようになっていて、心が変わってくるから、遊びも変わってくるんだと思った。

#### 記述例3)

人間は人とのかかわりがないとやっぱり生きていくことが難しいと思った。遊びなどから自分の思いやコミュニケーションが学べ、頭が使えるようになると思う。

### (2) 個に応じた指導の実際

学習プリントへの記述のときには、なかなか記述できない生徒に対しては、机間指導の時に話を聞くことによって確認していった。また、遊びと成長とのかかわりになかなか気付けない生徒に対しては、年齢と遊びを一覧にした表を見せながら遊びの場面を思い起こさせた。そこで、発達段階によって遊びがどのように変化しているのか気付かせていった。

技術・家庭科学習プリント < 幼児について調べよう >

3年 組 番 名前

## 事前アンケート

ア 幼い頃の遊びで、どんな遊びが心に残っていますか。

イ 幼児の遊びについて調べたいと思います。どんな方法があると思いますか。  
思いつく限り書いてみてください。

ウ 幼児にとって遊びはどんな役割を持っていると思いますか。

エ 幼児はどんどん発達して、いろいろなことが出来るようになっていきますが、どんな  
発達の様子について興味がありますか。(言葉や運動機能、情緒、生活習慣など)

オ 幼児について知りたいことはありますか。





<資料3>

技術・家庭科学習プリント <幼児を知ろう>

年 組 番 名前

## 幼 児 の 成 長 の 様 子

1 1歳、2歳、3歳...と成長していきますが、気付いたことを書いてみましょう。

2 幼児の成長にかかわって、遊びや周りの人とのかかわりについて自分の考えを書いてみましょう。

## 安全面に気をつけよう

幼児との触れ合いを十分に楽しむためにどんなことに心がけたらいいでしょうか。保育園児は「中学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんが来てくれる」と、とても楽しみにしています。

子どもたちに話しかけていくなど、積極的に触れ合い、楽しい時間を過ごして欲しいと思います。しかし、けがなどの事故がおきてしまうと、せっかくの楽しい触れ合いの時間が台無しになってしまいます。くれぐれもけがや事故のないように、充分配慮して欲しいと思います。

### まず、確認しよう

- ・室内や園庭の危険個所の確認をする

### 遊具の取り扱い

- ・ブランコ...たくさんこぎすぎない
- ・ブランコ、ボール遊びをしている回り...近くは走らない
- ・すべり台、アスレチックなど...気をつける

### 常に周りに気を配ること

- ・幼児の目の位置と自分の手の位置は同じくらいになる
  - ...幼児が何をしているのか気をつける
  - ...幼児と同じ目線で話す
- ・足元に気をつける...自分の足元に幼児がいると思おう
- ・ふいにたたかれることがある

### 相手は幼児...加減というものがわからない

気長につきあおう

< 参考資料 5 >

技術・家庭科学習プリント

## おもちゃの製作計画

年 組 名前

作品名

対象児

対象児の発達の特徴

完成図

技術・家庭科学習プリント

## おもちゃの製作

年 組 名前

製作上工夫した点

幼児に与えてみた反応

改善したほうがよい点

感想・反省

自己評価

幼児の発達に合っていて幼児が喜んで遊べるか	A	B	C
幼児が遊びを工夫し発展させることができるか	A	B	C
幼児自身や人を傷つけるなどの危険がないか	A	B	C
作り方がじょうぶか	A	B	C
幼児の反応はよかったか	A	B	C